



鶴岡会長大いにかたる!

職域代表は歯科医師が大義

～次期参議院議員選挙に向けて～

新型コロナウイルス感染症拡大が治まる兆しも見えず、疲弊する歯科医院経営に、国からの補助として、慰労金、感染対策費の支給が叶ったのは、組織代表の議員不在の中、選挙区選出の島村 大参議院議員の働きがあったからこそ実現されたものと認識している。

迂回献金事件以降、日本歯科医師連盟は通常通りの選挙はしないとした中、山田 宏氏を支援した。また、昨年夏の参議院選挙においても、紆余曲折した結果、比嘉なつみ氏を支援し、結果、次点ではあるが落選。

組織代表議員の待望論が多くの会員から上がる中、日本歯科医師連盟は通常通りの選挙を行うとし、全国から22名の選考委員を集めた選考委員会が立ち上がった。候補者は全国の歯科医師連盟会員より公募する形となったが、選考委員会が立ち上がる前に、先の参議院議員選挙において支援をした歯科医師ではない山田 宏氏から47都道府県歯科医師連盟に対し推薦依頼が出された。これは疑念を抱かざるを得ない。

神奈川県歯科医師連盟としては秦野伊勢原歯科医師会歯科医師連盟より萩原鉄也氏の推薦依頼があり、本連盟として面談を重ねた結果、推薦する方向で臨時評議員会に回り全会一致で決定し、その旨を8月20日(木)に推薦を選考委員会に提出した。

日本歯科医師連盟会長は通常通りの選挙を行うとし、全国から選出された選考委員会委員による真摯な判断によって組織代表にふさわしい候補者を選んでいただき、そ



菅新総理と鶴岡会長

の意向に沿ってサポートしていく考えであると発言された。

しかし選考委員会でその候補者が出揃う前に、13の都道府県歯科医師連盟が山田 宏氏を推薦する不可解な事態が起きている。中立な立場で行われるべき選考委員会がこのように不公平な状態で開催される事に疑問をもちたざるを得ない。

候補者推薦規則には『**歯科医療に関する専門的見識を有する者**』と記されている。本来は現場を知る歯科医師であるべき。目先の政治力に頼ることなく、10年、20年先の歯科界の将来を考え、**歯科医師を組織代表として、国政に送るべきである**。それが神奈川県歯科医師連盟の大義である。

本連盟推薦の、萩原鉄也氏が組織代表候補者として選出されるべく、一丸となり強く応援していきたい。

萩原候補推薦を承認

～地域歯科医師連盟代表者会議～

地域歯科医師連盟代表者会議が、8月6日(木)午後6時より、県歯会館視聴覚研修室にて開催された。

長崎康俊理事長の司会、宮坂宗行副会長の開会の挨拶の後、鶴岡裕亮会長より報告と挨拶があった。

続いて、島村 大参議院議員より、一次補正及び二次補正、骨太方針とPCR検査など新型コロナ関係の話等国会報告があった。

次に檀上 修副理事長より、幹事・DMにおけるWeb会議への対応状況アンケート結果について、どの地域も対応可能という結果が報告された後、協議に入った。

【協議題】日歯連盟参議院比例代表候補者選考に係る本連盟会員の立候補及び今後の対応について

6月26日(金)の日歯連盟評議員会において、次期参議院選挙には通常選挙を行うことが可決、公募にて候補者を募り、選考委員会にて職域代表を決定することとなった。

秦野伊勢原歯科医師連盟大塚理事長から萩原鉄也会員の推薦があり、本連盟では、本日の会議及び臨時評議員会書面決議にて選考委員会に推薦することを常務理事会にて決定した。

大塚理事長から推薦に至る経緯の説明の後、檀上副理事長より選考委員会の日程などの追加説明があった。

萩原会員から自己紹介並びに強い決意表明があり、盛大な拍手をもって承認され、徳永寛司副会長の閉会の言葉で散会した。

令和2年度予算案・令和元年度決算承認される ～第44回・第45回評議員会書面議決～

令和2年度予算(案)・事業計画(案)等を審議する第44回評議員会及び令和元年度決算を審議する第45回評議員会は、新型コロナウイルス感染症蔓延に伴い、関係者の健康・安全面を第一に考慮して6月18日(木)に書面審議にて開催され、評議員63名全員よりすべての議案が承認された。

- 第1号議案 神奈川県歯科医師連盟令和2年度事業計画に関する件
- 第2号議案 神奈川県歯科医師連盟令和2年度会費賦課並びに収納方法に関する件
- 第3号議案 神奈川県歯科医師連盟一般会計令和2年度収入支出予算に関する件
- 第4号議案 神奈川県歯科医師連盟一般会計令和元年度収入支出決算に関する件
- 第5号議案 神奈川県歯科医師連盟令和元年度貸借対照表、財産目録に関する件
- 第6号議案 神奈川県歯科医師連盟選挙管理委員会委員の委嘱に関する件

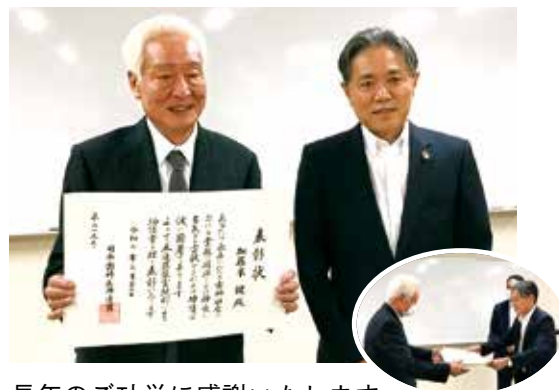
萩原候補推薦を書面表決

～第46回臨時評議員会～

8月17日(月)、郵送及びFAXによる書面表決にて、下記のとおり決定した。
〈次期参議院比例代表選出候補者として“萩原鉄也氏”を推薦する件〉
原案について評議員63名中、全員より「承認」をいただいた。

日本歯科医師連盟褒賞 加藤木健先生(横浜市西区)受賞

令和元年度日歯連褒賞授賞式は、本来日本歯科医師連盟評議員会の席上にて執り行われるが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により授賞式が延期、中止となったことから、9月10日(木)本連盟常務理事会にて表彰ならびに記念品の贈呈が行われた。



長年のご功勞に感謝いたします

神奈川県歯科医師連盟 選挙管理委員会委員・予備委員(敬称略) 任期：令和2年7月1日～令和4年6月30日

選挙管理委員会委員(7名)

氏名	地域名	
清水 直	横浜市(保土ヶ谷区)	(再任)
相庭 常人	横浜市(泉区)	(再任)
松田 圭子	横浜市(港北区)	(再任)
富岡 孝之	横浜市(青葉区)	(新任)

氏名	地域名	
髭内 宏光	川崎市(幸区)	(再任)
嶋村 政博	大和綾瀬	(再任)
高橋 清治	茅ヶ崎	(再任)

予備委員(3名)

氏名	地域名	
渡邊奈美子	藤沢市	(再任)
千原 晃	鎌倉市	(新任)
西 耕一	茅ヶ崎	(新任)

[次期参議院議員選挙日歯連盟候補者]

立候補趣意書

はぎわらてつや
萩原鉄也 (秦野伊勢原・53歳)



01 立候補を決意した理由

会員の皆様と共に歩む、新たな職域代表の形をつくりたいこと

職域代表議員の資格要件とは、診療の専門知識を有し、現場を理解できる歯科医師であること

02 私 萩原鉄也について

市会議員の政治経験から、国から市町村までの政策浸透を熟知

2012年の伊勢原市議会議員選挙に自ら出馬し（自民党推薦）、昨年までの2期、約8年を務めました。

03 国政で取り組みたいこと

職域代表議員の役割は、現場の思いを国政に反映させること

- 1 現場の歯科医師の窮状を、当事者として訴えます！ ……診療報酬における適正な評価を求める
- 2 変化していく社会に対応します！ ……急速に進む超高齢社会への対応が必要
- 3 感染症対策を究明し、尽力します！
……「感染症対策としての口腔健康管理」を確立させるべく、国の調査研究の促進
- 4 最も実現したい施策は予防の保険適用！！
……結果的に国民の健康寿命が延伸し、ひいては医療費削減



鶴岡会長との対談動画配信中

菅総理のもと
神奈川県から
3名入閣

菅 義偉

内閣総理大臣

(神奈川県第2区【横浜市西区・南区・港南区】)

河野 太郎

行政改革担当大臣

(神奈川県第15区【平塚市・茅ヶ崎市・中郡】)

小此木 八郎

国家公安委員会委員長

(神奈川県第3区【横浜市鶴見区・神奈川区】)

小泉 進次郎

環境大臣

(神奈川県第11区【横須賀市・三浦市】)

菅 義偉新総理のご就任に寄せて



参議院議員 島村 大

9月16日（水）、衆参の院の議決を受けて菅 義偉新総理が誕生しました。菅総理は2012年12月の政権奪還後に官房長官に就任され、翌2013年の私の初めての選挙の際は、同時に自民党神奈川県連会長も務められていました。菅県連会長の強力なリーダーシップのもと、私は全国得票数1位、神奈川県選挙区で大勝させて頂きました。今、私が国政の場

で働けるのは、まさに菅総理のご指導の賜たまものです。

官房長官時代の7年8ヶ月間、菅長官には歯科の様々な課題について多大なるご尽力を頂きました。新型コロナウイルス感染症対応への歯科の関わりも然りです。

8月末の安倍前総理の辞任表明後、自民党総裁選が突如として始まりました。恩返しの機会を得た私は、菅議員を尊敬する無派閥の有志議員と共に他派閥とも連携し奔走しました。結果は皆様ご存知のとおりです。このコロナ禍において国民の皆様が最も重要だと感じていることは、やはり菅総裁が一番に掲げる新型コロナ対策と経済対策の継続性ではないでしょうか。

私は、引き続き歯科医師が国民のために貢献できることを考え、行動し、菅総理指導のもと、皆様とともに精一杯努力して参る所存です。ぜひ先生方のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



政治の師から激励を受ける

令和2年度「島村 大君を励ます会」中止のお知らせ

10月15日（木）予定されておりました「島村 大君を励ます会」は新型コロナウイルスの感染拡大を鑑みて中止になりました。